

第9回シンポジウム

健康と医療

—参加と還元—

【理事長挨拶】

珠玖 洋 三重大学大学院医学系研究科 教授／健康医療開発機構 理事長

【第一部】

最先端の医療開発 コーディネーター 珠玖 洋

基調講演Ⅰ 「免疫チェックポイント阻害剤によるがん免疫療法」
慶應義塾大学医学研究科 委員長 河上 裕

基調講演Ⅱ 「キメラ抗原受容体 (CAR) 発現Tリンパ球を用いた
白血病／リンパ腫に対する養子免疫遺伝子療法」
東京大学医科学研究所 附属病院長 小澤 敬也

基調講演Ⅲ 「新しいC型慢性肝炎治療の生命予後と社会に及ぼす影響」
昭和大学藤が丘病院消化器内科 准教授 井上 和明

【第二部】

医療とのかねあい コーディネーター 清水 昭

「費用対効果評価 (HTA) とがん患者会」
NPOパンキャンジャパン 理事長 眞島 喜幸

「薬剤の評価と薬価、そして社会の医療システム」
京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 教授 今中 雄一

「参加型健康医療開発／ゲノム／医療の受容性」
東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 教授
健康医療開発機構 理事・事務局長 宮野 悟

「健やかな高齢者生活を送りましょう—不易と流行」
国家公務員共済組合連合会三宿病院 脳卒中センター長
健康医療開発機構 理事 清水 昭

「限界芸術・死亡率・H. curans・シンギュラリティ・TPPと薬価」
JA長野厚生連・佐久総合病院 地域医療部 地域ケア科医長
健康医療開発機構 理事 色平 哲郎

2016年

日時 3月20日(日) 参加対象：一般
13:00～17:30 (12:30開場)

入場無料 (定員180名)

場所 秋葉原UDX4階 UDXギャラリー NEXT-1
(東京都千代田区神田4-14-1)

申込締切

2016年

3月17日(木)

※定員になり次第
締切らせて
いただきます。

参加申込専用webサイト <http://sympo16.tr-networks.org> Email、Faxまたはハガキでも受け付けております。

主催：NPO健康医療開発機構

特別協賛：東日本旅客鉄道株式会社 鹿島建設株式会社

協賛：星槎グループ (国際学園・世界こども財団) 株式会社アインホールディングス 後援：文部科学省 厚生労働省 経済産業省

珠玖 洋

三重大学大学院医学系研究科教授
健康医療開発機構 理事長

昭和40年名古屋大学医学部卒業、米国スローン・ケタリング癌研究所、昭和59年長崎大学医学部教授（原研免疫及び腫瘍医学）、三重大学医学部教授（内科学第二講座）を経て、平成18年三重大学大学院医学系研究科遺伝子・免疫細胞治療学分野教授、平成27年三重大学複合的がん免疫療法リサーチセンターセンター長、同年6月NPO健康医療開発機構理事長、現在に至る。がんに対するT細胞免疫応答の解析研究をもとに、新しいがんワクチン、癌抗原特異的なT細胞レセプター遺伝子を導入したT細胞の輸注療法、等の開発研究を進めている。



清水 昭

国家公務員共済組合連合会三宿病院 脳卒中センター長
健康医療開発機構 理事

昭和50年3月順天堂大学卒業、防衛医科大学校脳神経外科講師、ニューヨーク州立大学医学部脳神経外科講師、自衛隊中央病院脳神経外科部長を経て、平成23年7月国家公務員共済組合連合会三宿病院脳卒中センター長、平成24年4月福島県立医科大学 災害医療支援講座特任教授を併任、現在に至る。



河上 裕

慶應義塾大学医学研究科 委員長

1980年慶應義塾大学医学部卒業、同内科学教室、国立大蔵病院内科、南フロリダ大学免疫学教室、カリフォルニア工科大学生物学教室、NIH 国立がん研究所外科を経て、1997年慶應義塾大学医学部先端医学研究所教授、2005年-2015年同所長、2015年慶應義塾大学「疾患の免疫制御」、卒業時に魅せられた「がん」と「免疫」の研究にかかわる血液感染リウマチ内科に入局し、今は、がんの免疫制御を中心に研究を進めている。



色平 哲郎

JA長野厚生連・佐久総合病院 地域医療部 地域ケア科医長
健康医療開発機構 理事

東大中退、京大医学部卒、医師、星槎大学共生科学部客員教授、元京大大学院医学研究科非常勤講師、東大大学院医学研究科非常勤講師。



小澤 敬也

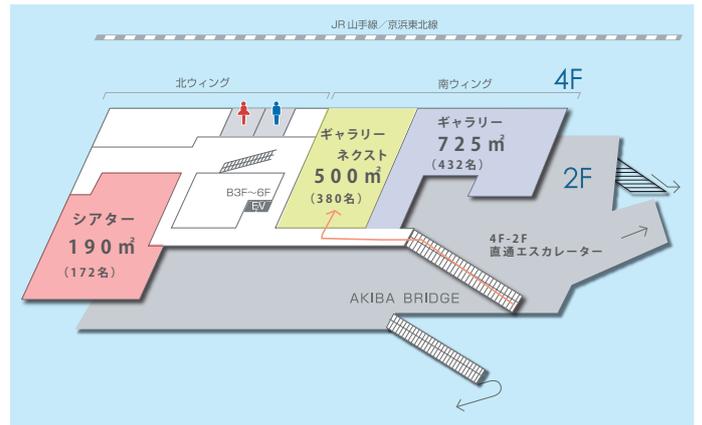
東京大学医学研究所 附属病院長

昭和52年東京大学医学部医学科卒業、自治医科大学血液医学研究部門造血発生講座助手、東京大学医学部第3内科助手、米国NIH (Clinical Hematology Branch, NHLBI) 留学、東京大学医学研究所病態薬理学研究部/内科講師、助教授、自治医科大学分子病態治療研究センター遺伝子治療研究部教授、同大学内科学講座血液部門主任教授、分子病態治療研究センター長（併任）、同大学免疫遺伝子細胞治療学（タカラバイオ） 講座教授（兼任）を経て、平成26年4月東京大学医学研究所附属病院長、同遺伝子・細胞治療センター（CGCT）センター長、同先端医療研究センター・遺伝子治療開発分野教授、自治医科大学客員教授 現在に至る。



秋葉原UDX4階 UDXギャラリーNEXT-1

(東京都千代田区神田4-14-1 TEL: 03-3254-8421)



井上 和明

昭和大学藤が丘病院消化器内科 准教授

昭和61年3月昭和大学医学部卒業、同大学助手、同大学藤が丘病院消化器内科助手、(財)東京臨床医学総合研究所を経て、平成19年昭和大学消化器内科准教授 現在に至る。



眞島 喜幸

NPOパンキャンジャパン 理事長

昭和23年4月12日 東京生まれ、Ottawa University、UCLA School of Public Health修了。博士号課程に進み、Rand Corporationにて健康政策分析プロジェクトに参画。その後、ソフトウェア会社を起業し医学系教育ソフト開発などをすすめた。2006年に実妹を膵臓がんで亡くし、米国の膵臓がん患者支援団体Pancreatic Cancer Action Network (膵臓がんアクションネットワーク) の日本支部 (PanCAN Japan) を設立。家族性膵臓がんの疑いから、ハイリスク患者として経過観察を受けてきたが、2012年に腫瘍が見つかり膵全摘手術を受け、現在に至る。



今中 雄一

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 教授

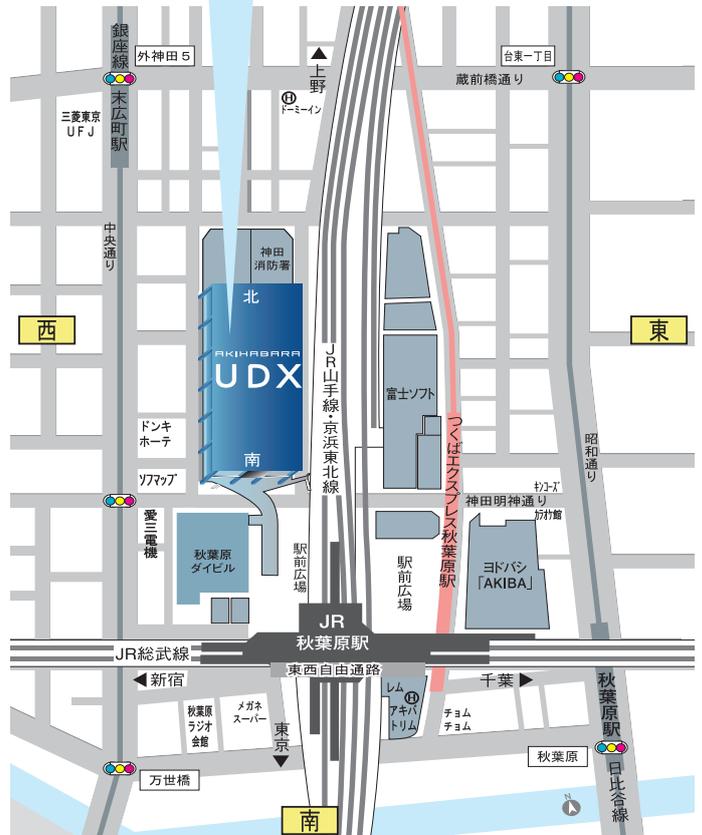
1986年、東京大学医学部医学科卒、医博。MPH、PhD (ミシガン大学)。日本内科学会認定内科医、死体解剖資格。病院勤務、大学勤務などを経て2000年4月から現職。



宮野 悟

東京大学医学研究所ヒトゲノム解析センター 教授
健康医療開発機構 理事・事務局長

1977年九大理学部数学科卒。理学博士。九大理学部教授を経て1996年より現職。スパコンを駆使したゲノムデータを解析で個別化ゲノム医療を推進中。文科省新学術領域研究「システムがん」領域代表。HPCI戦略プログラム分野1「予測する生命科学・医療および創薬基盤」でスパコンを駆使してゲノムをはじめとする大規模生命ビッグデータ解析を実施中。2014年よりヒトゲノム解析センター長。2015年より神奈川県立がんセンター総長を兼務。



シンポジウム終了後に懇親会がございますので、お時間ございましたらご是非ご参加ください。

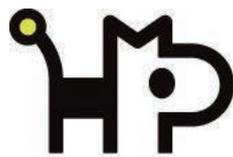
時間	場所	会費
18:00~20:00	秋葉原UDX4階 UDXギャラリーNEXT-3	3,000円

- ・つくばエクスプレス秋葉原駅A1出口より徒歩3分
- ・JR秋葉原駅電気街口より徒歩2分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅2番出口より徒歩2分
- ・東京メトロ銀座線末広町駅1番または3番出口より徒歩3分

NPO健康医療開発機構 事務局

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
東京大学医学研究所ヒトゲノム解析センター
DNA情報解析分野内

TEL: 03-5795-0096 FAX: 03-5795-0098
E-mail: sympo16@tr-networks.org
http://www.tr-networks.org (入会受付中)



Health and Medicalcare Promotion